

# 市内中小企業景況調査報告書

令和4年 5月～ 8月 実績

令和4年 9月～12月 見通し

令和4年 9月

江別商工会議所

# 目 次

## I 調査要領

1. 調査対象	2
2. 調査方法	2
3. 業種別回答状況	2

## II 江別市内の経済動向

1. 常時使用従業員数	3
2. 業 況	3
3. 売上状況	8
4. 利益状況	9
5. 資金繰り状況	10
6. 設備投資状況	11
7. 雇用状況	12
8. 「外国人技能実習生」または「外国人労働者」の受け入れ状況	13
9. 経営上の問題点	14

## III 業種別参考資料

1. 製造業	15
2. 小売業	16
3. サービス業	17
4. 建設業	18

# I 調査要領

## 1. 調査対象

- ・市内中小企業 400企業
- 【内訳】
  - ・製造業 81企業
  - ・卸売業 50企業
  - ・小売業 67企業
  - ・サービス業 102企業
  - ・建設業 100企業

## 2. 調査方法

- ・郵送によるアンケート調査を実施した。
- ・調査票発送日 令和4年8月1日
- ・調査票回答期限 令和4年8月25日

## 3. 業種別回答状況

業種	発送企業数	回答企業数	回答率
製造業	81	39	48.1%
卸売業	50	19	38.0%
小売業	67	26	38.8%
サービス業	102	36	35.3%
建設業	100	42	42.0%
合計	400	162	40.5%

※ 本調査結果報告書中の「DI 値」とは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、調査項目についての「良い、増加、過剰」とした企業割合から「悪い、減少、不足」とした企業割合を差し引いた値を示す。

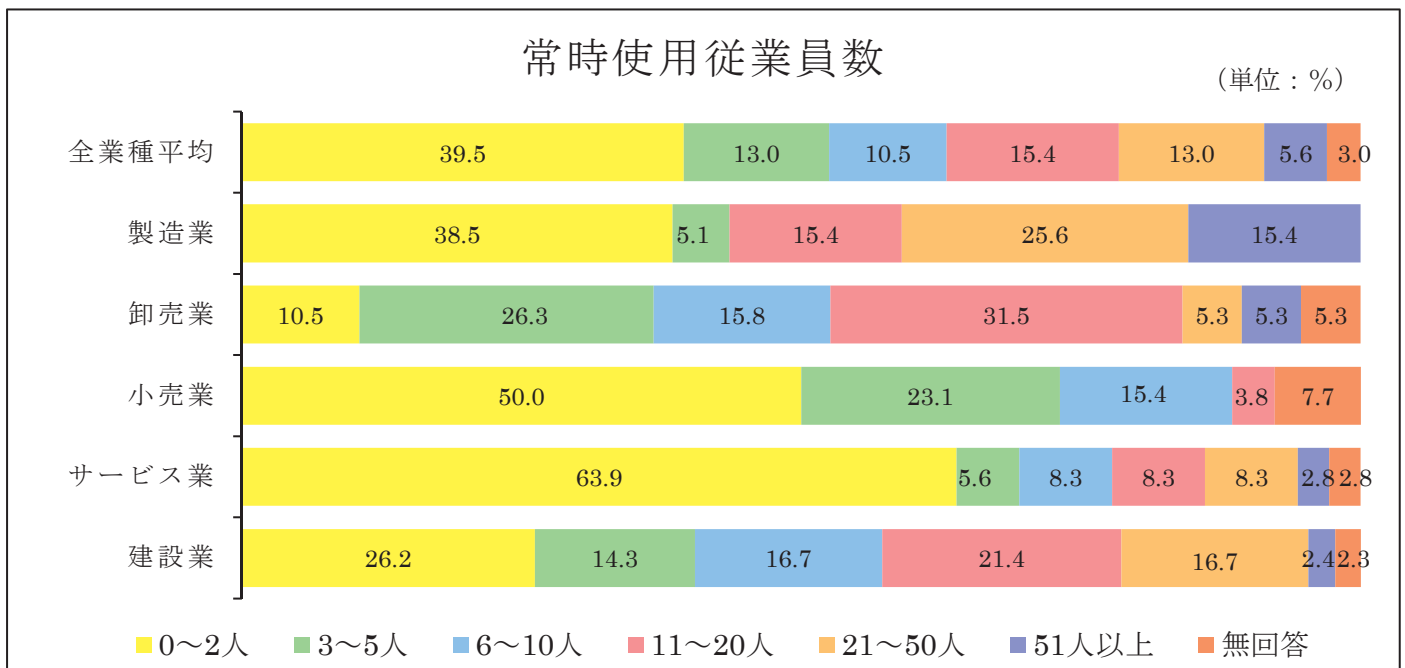
※ 本調査結果報告書中の「前回」とは、令和4年4月（令和4年1月～4月）を示し、「前年同期」とは、令和3年8月（令和3年5月～8月）を示す。

## II 江別市内の経済動向

### 1. 常時使用従業員数

回答企業の従業員数内訳は下記のとおりであり、構成割合は全業種平均で20人以下の企業が約78%を占めており、そのほとんどが小規模企業であることが分かる。

このように、江別市内の企業形態は、大部分が小規模企業であることから、小規模企業の業況が市内の景況に大きく影響を与えていることが予測される。



### 2. 業 況

内閣府が発表した月例経済報告（令和4年8月発表）によると、個人消費は緩やかに持ち直しているとされ、企業収益は一部に弱さがみられるものの、総じてみれば改善しているとなった。生産並びに設備投資は持ち直しの動きがみられ、雇用情勢は持ち直しているとされた。倒産件数はおおむね横ばいとなっており、企業の業況判断は、持ち直しの動きに足踏みがみられるとされた。景気は緩やかに持ち直しており、先行きについては、感染対策に万全を期し、経済社会活動の正常化が進む中で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待されるが、世界的な金融引き締め等を背景とした海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇による家計や企業への影響や供給面での制約等に十分注意する必要があるとされている。

北海道経済産業局が発表した管内経済概況（令和4年7月発表）によると、個人消費は「一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる」、民間設備投資は「増加している」、公共工事は「減少している」、雇用動向は「弱い動きがみられる」、企業倒産については「件数、負債総額とも増加している」との判断が継続されたが、生産活動は「弱含みとなっている」、住宅建設については「弱い動きとなっている」に下方修正された。有効求人倍率（5月）は1.00倍と前年同月比0.07ポイント上昇し、12か月連続で前年を上回った。

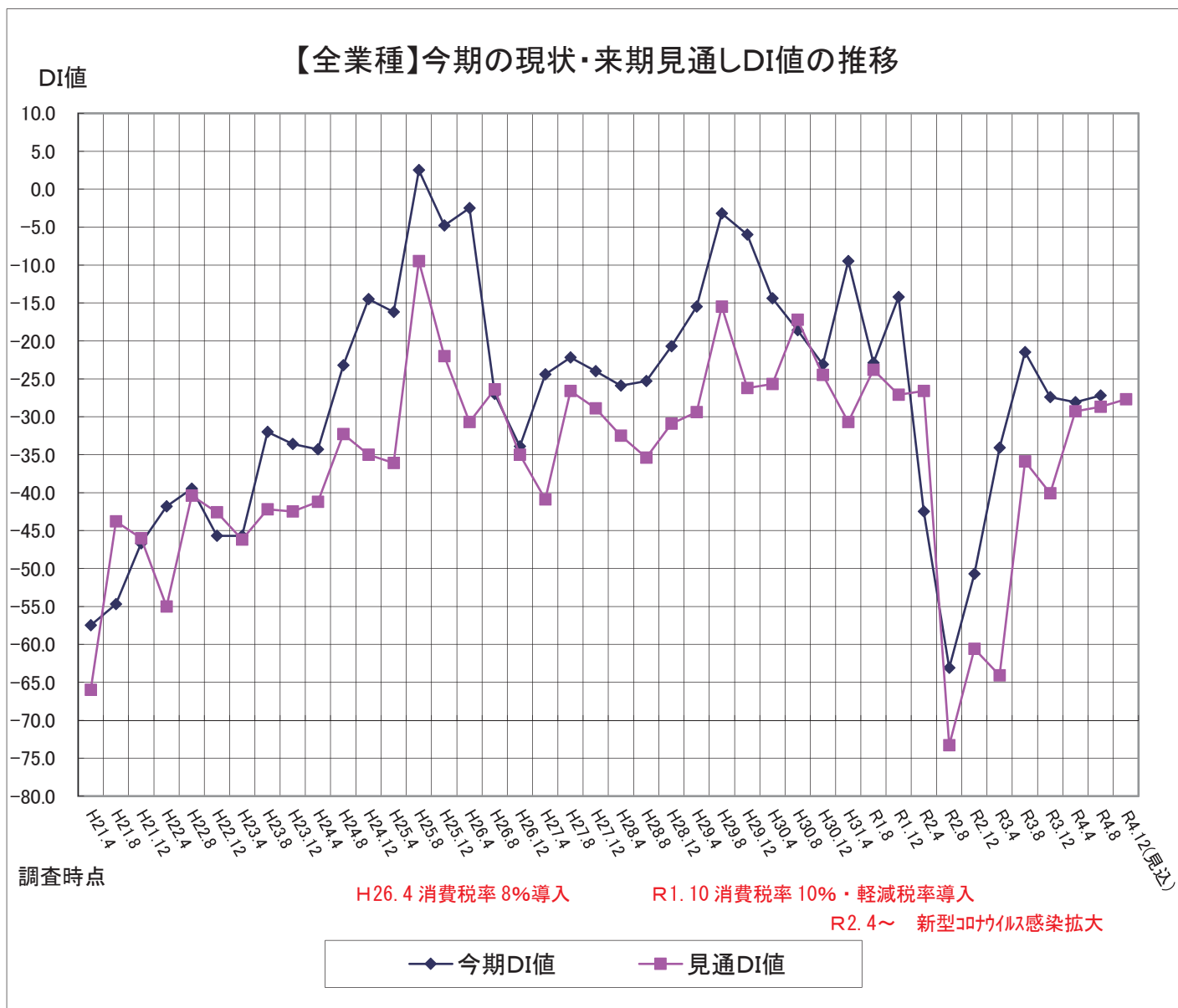
道内経済は、持ち直しの動きに弱さがみられる。先行きについては、新型コロナウイルス感染症の影響、国際経済の動向等を十分注視する必要があるとされている。

こうした情勢下、当所が行った江別市の景況調査（令和4年5月～8月）では、全業種平均の今期業況DI値は△27.2と前回（令和4年4月期）△28.1に比べ0.9ポイントの改善となった。業種別に見ると、小売業では49.5ポイント、卸売業で17.5ポイントの改善となったが、サービス業では10.4ポイント、製造業で11.1ポイント、建設業で15.5ポイントの悪化となっている。今期業況DI値を前年同期（令和3年8月期）の調査結果と比較すると小売業で22.2ポイント、サービス業で15.0ポイントの改善となったが、建設業で14.9ポイント、卸売業で15.8ポイント、製造業で32.0ポイント悪化している。

来期の見通しDI値を今期の業況DI値と比較すると建設業で9.4ポイント、サービス業で8.5ポイントの改善見通し、製造業は今期と同じ数値となったものの、卸売業で10.5ポイント、小売業で23.0ポイントの悪化の見通しとなっている。景況の先行きについては総じて感染症や物価上昇の影響をうけ厳しい状況が続いている中で緩やかに持ち直しの動きがみられるが、一部業種では持ち直しの動きに弱さがみられる。

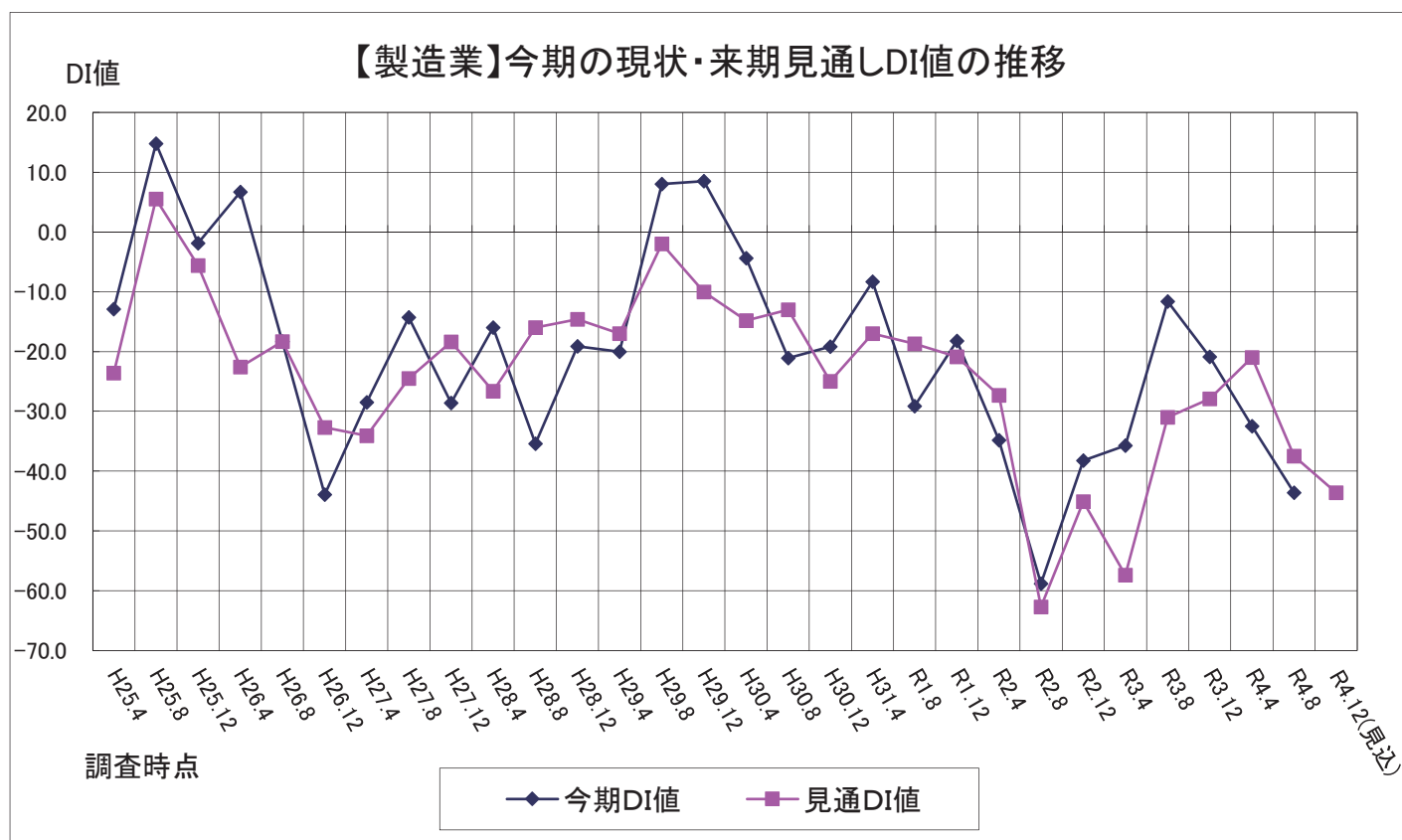
### 全業種平均

- ・今期DI値は△27.2となり、前回より0.9ポイント改善、前年同期より5.7ポイント悪化。
- ・来期DI値は△27.7となり、今期より0.5ポイント悪化。



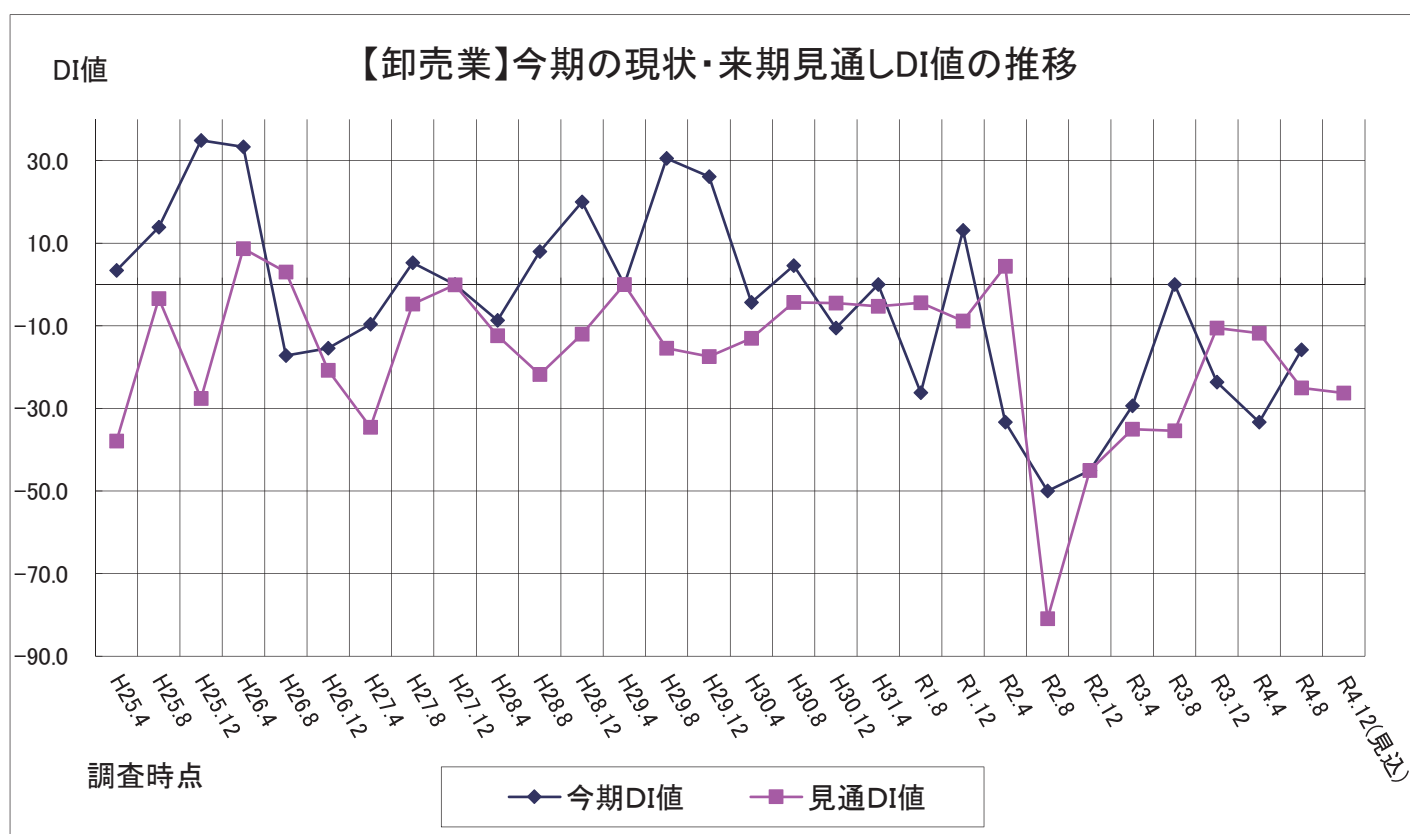
## 製造業

- ・今期D I値は△43.6となり、前回より11.1ポイント、前年同期より32.0ポイント悪化。
- ・来期D I値は△43.6となり、今期と同水準。



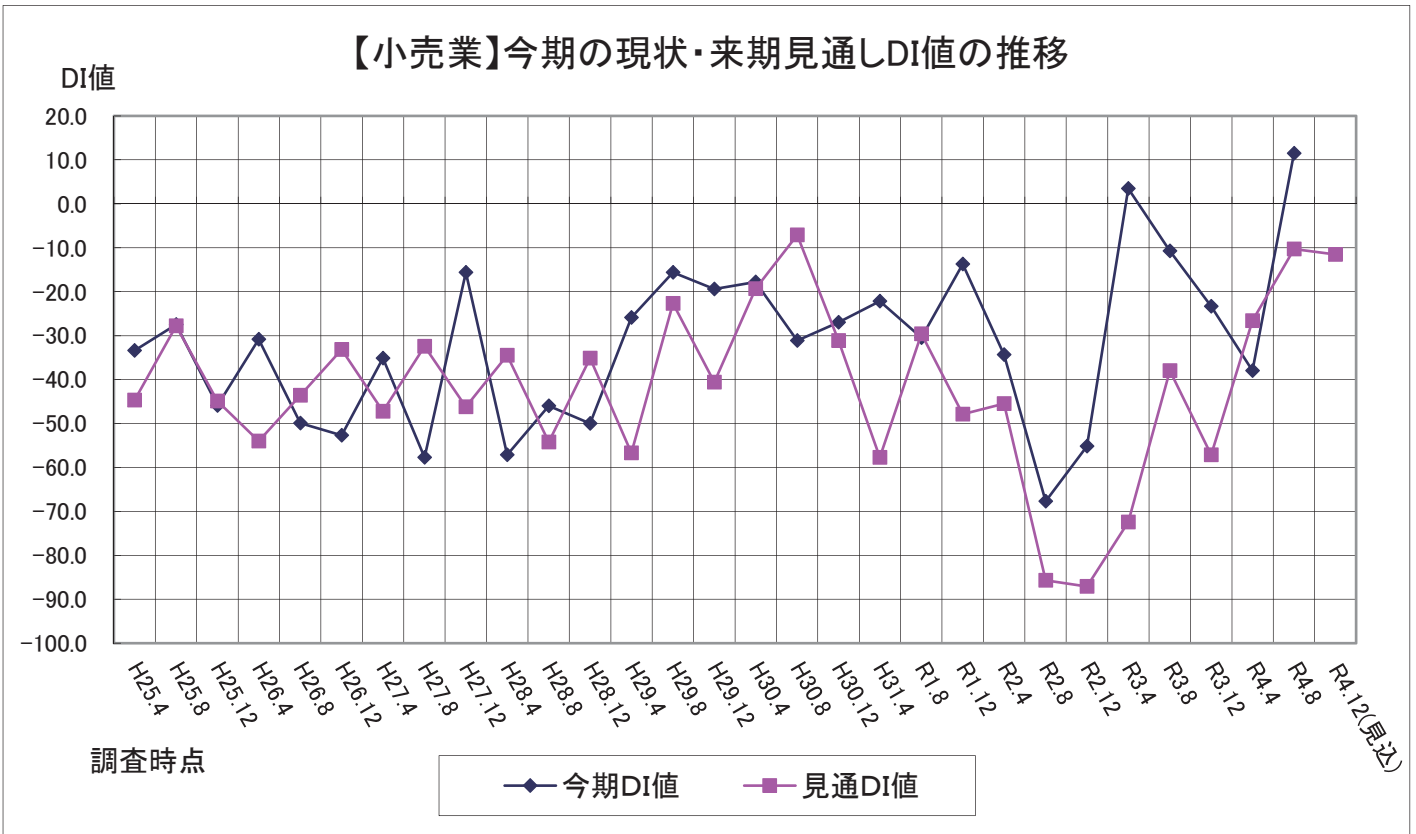
## 卸売業

- ・今期D I値は△15.8となり、前回より17.5ポイント改善、前年同期より15.8ポイント悪化。
- ・来期D I値は△26.3となり、今期より10.5ポイント悪化。



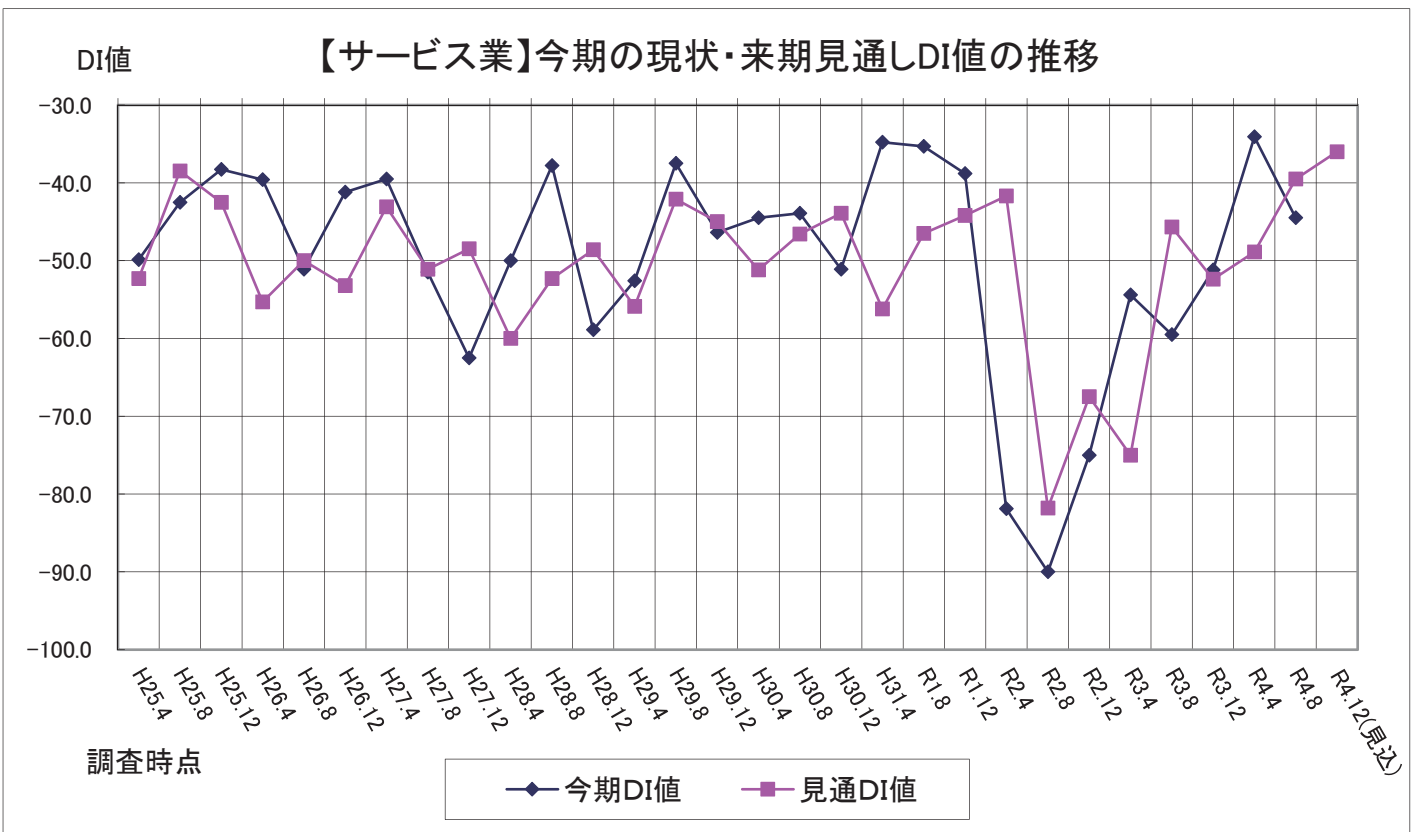
## 小 売 業

- ・今期D I 値は11.5となり、前回より49.5ポイント、前年同期より22.2ポイント改善。
- ・来期D I 値は△11.5となり、今期より23.0ポイント悪化。



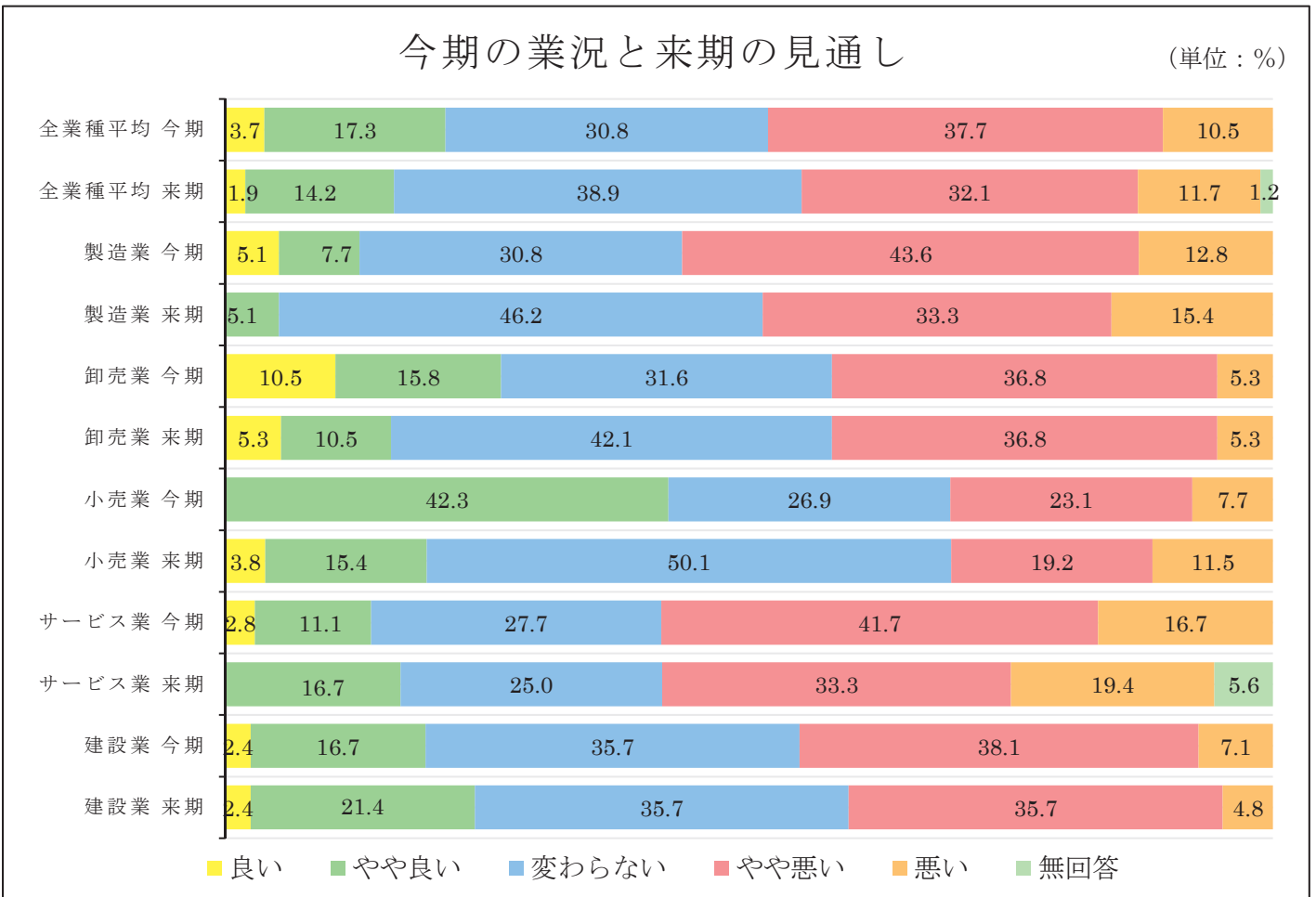
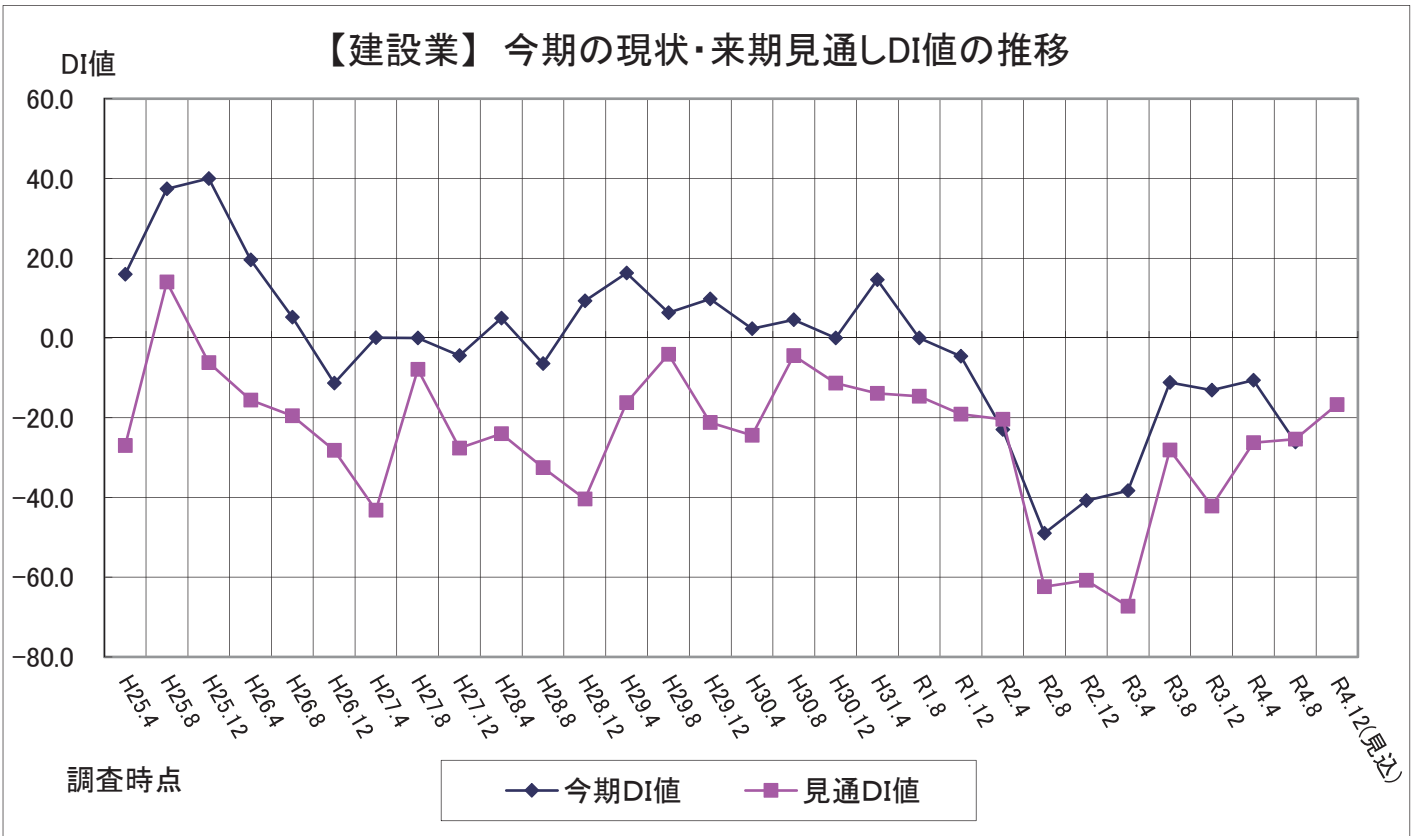
## サービス業

- ・今期D I 値は△44.5となり、前回より10.4ポイント悪化、前年同期より15.0ポイント改善。
- ・来期D I 値は△36.0となり、今期より8.5ポイント改善。



## 建設業

- ・今期D I値は△26.1となり、前回より15.5ポイント、前年同期より14.9ポイント悪化。
- ・来期D I値は△16.7となり、今期より9.4ポイント改善。





### 3. 売上状況

#### 全業種平均

- ・今期D I 値は△15.4となり、前回より8.8ポイント、前年同期より8.2ポイント改善。
- ・来期D I 値は△28.4となり、今期より13.0ポイント悪化。

#### 製造業

- ・今期D I 値は△20.5となり、前回より2.0ポイント改善、前年同期より4.3ポイント悪化。
- ・来期D I 値は△33.2となり、今期より12.7ポイント悪化。

#### 卸売業

- ・今期D I 値は△21.1となり、前回より4.4ポイント、前年同期より5.2ポイント悪化。
- ・来期D I 値は△15.8となり、今期より5.3ポイント改善。

#### 小売業

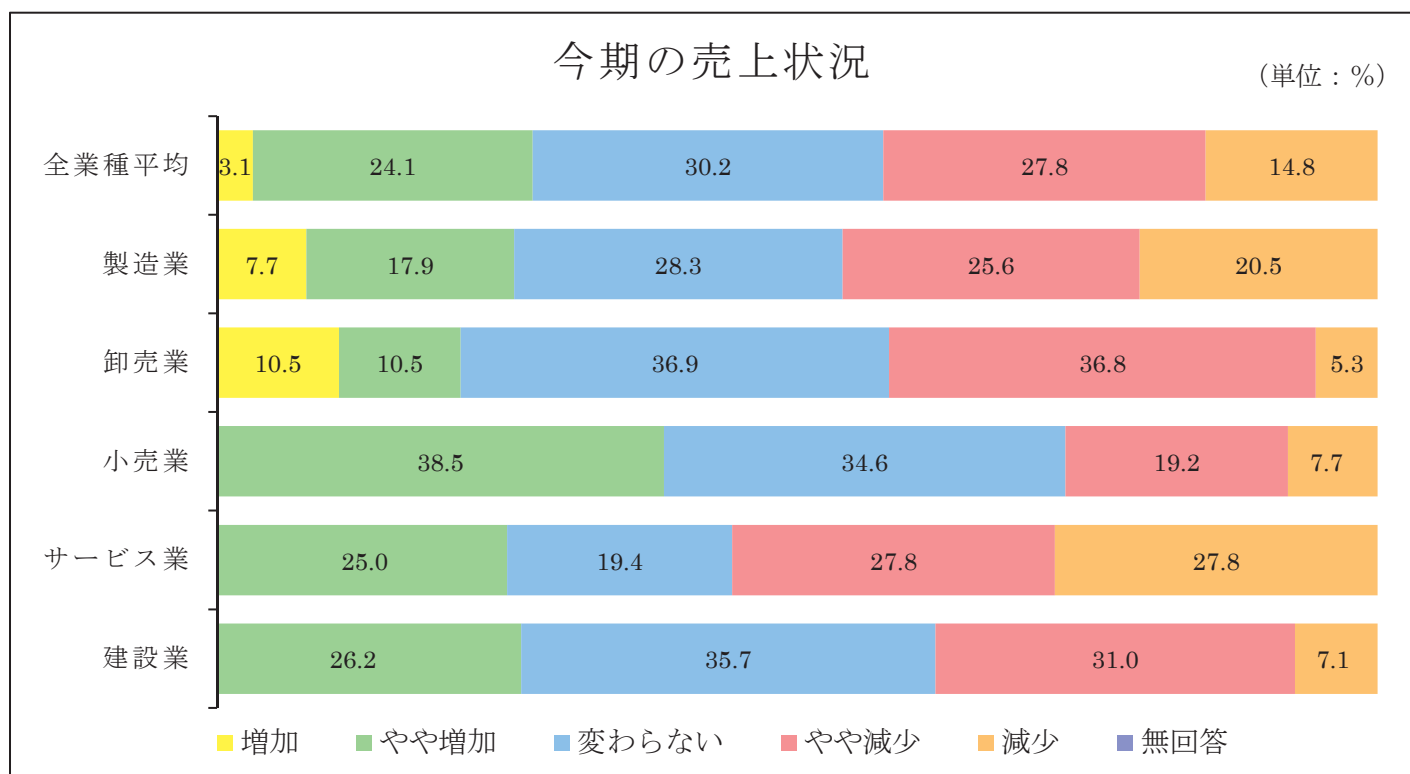
- ・今期D I 値は11.6となり、前回より56.4ポイント、前年同期より8.1ポイント改善。
- ・来期D I 値は△19.2となり、今期より30.8ポイント悪化。

#### サービス業

- ・今期D I 値は△30.6となり、前回より3.5ポイント、前年同期より31.3ポイント改善。
- ・来期D I 値は△44.5となり、今期より13.9ポイント悪化。

#### 建設業

- ・今期D I 値は△11.9となり、前回より3.3ポイント悪化、前年同期より3.7ポイント改善。
- ・来期D I 値は△21.5となり、今期より9.6ポイント悪化。



## 4. 利益状況

### 全業種平均

- ・今期D I 値は△32.6となり、前回より8.4ポイント改善、前年同期より3.2ポイント悪化。
- ・来期D I 値は△33.4となり、今期より0.8ポイント悪化。

### 製造業

- ・今期D I 値は△25.7となり、前回より16.8ポイント改善、前年同期より2.4ポイント悪化。
- ・来期D I 値は△35.8となり、今期より10.1ポイント悪化。

### 卸売業

- ・今期D I 値は△10.4となり、前回より10.4ポイント改善、前年同期より10.4ポイント悪化。
- ・来期D I 値は△21.0となり、今期から10.6ポイント悪化。

### 小売業

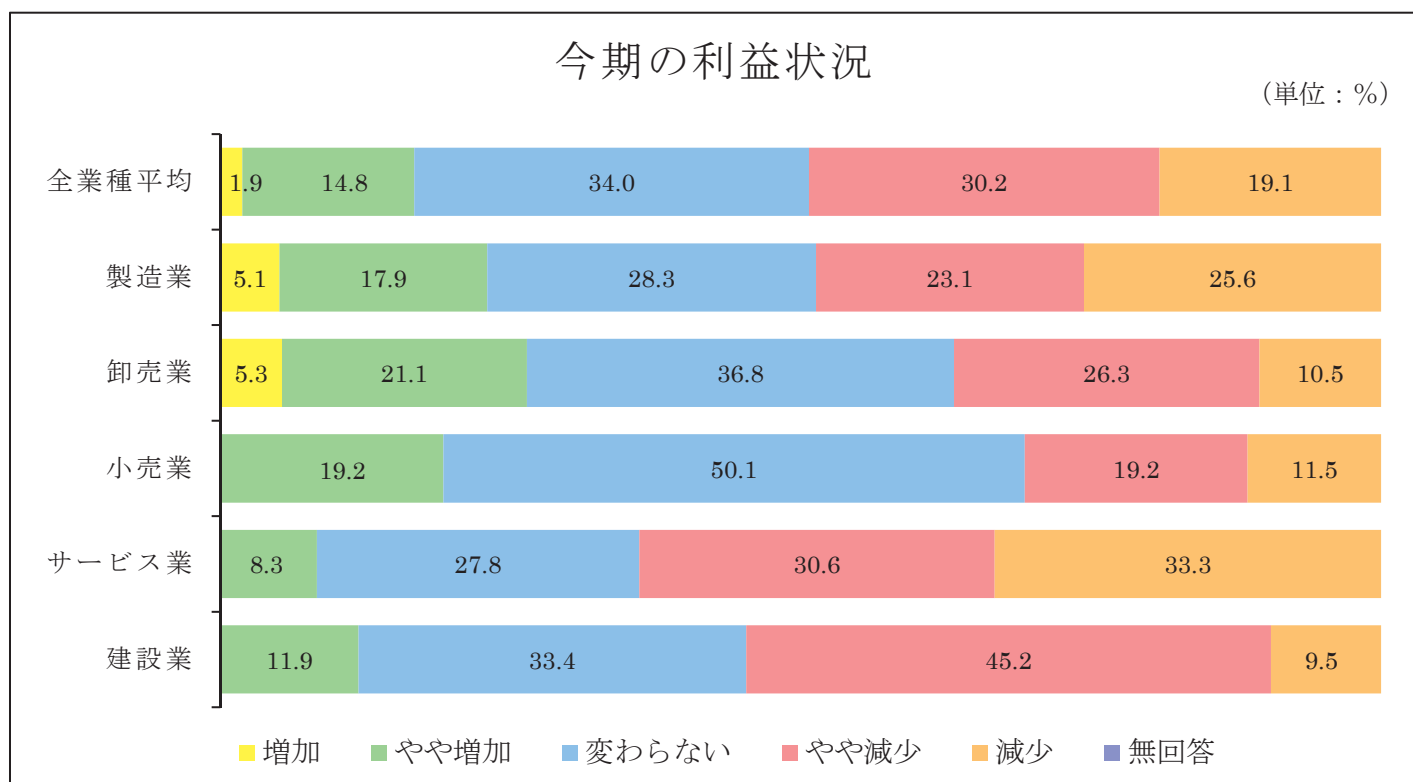
- ・今期D I 値は△11.5となり、前回より50.6ポイント改善、前年同期より0.7ポイント悪化。
- ・来期D I 値は△11.5となり、今期と同水準。

### サービス業

- ・今期D I 値は△55.6となり、前回より10.9ポイント悪化、前年同期より3.9ポイント改善。
- ・来期D I 値は△52.8となり、今期より2.8ポイント改善。

### 建設業

- ・今期D I 値は△42.8となり、前回より8.8ポイント、前年同期より11.7ポイント悪化。
- ・来期D I 値は△33.3となり、今期より9.5ポイント改善。



## 5. 資金繰り状況

### 全業種平均

- ・今期D I値は△11.7となり、前回より6.8ポイント、前年同期より2.4ポイント改善。
- ・来期D I値は△15.5となり、今期より3.8ポイント悪化。

### 製造業

- ・今期D I値は△2.5となり、前回より20.0ポイント、前年同期より16.1ポイント改善。
- ・来期D I値は△10.2となり、今期より7.7ポイント悪化。

### 卸売業

- ・今期D I値は△26.3となり、前回より26.3ポイント、前年同期より31.5ポイント悪化。
- ・来期D I値は△15.8となり、今期より10.5ポイント改善。

### 小売業

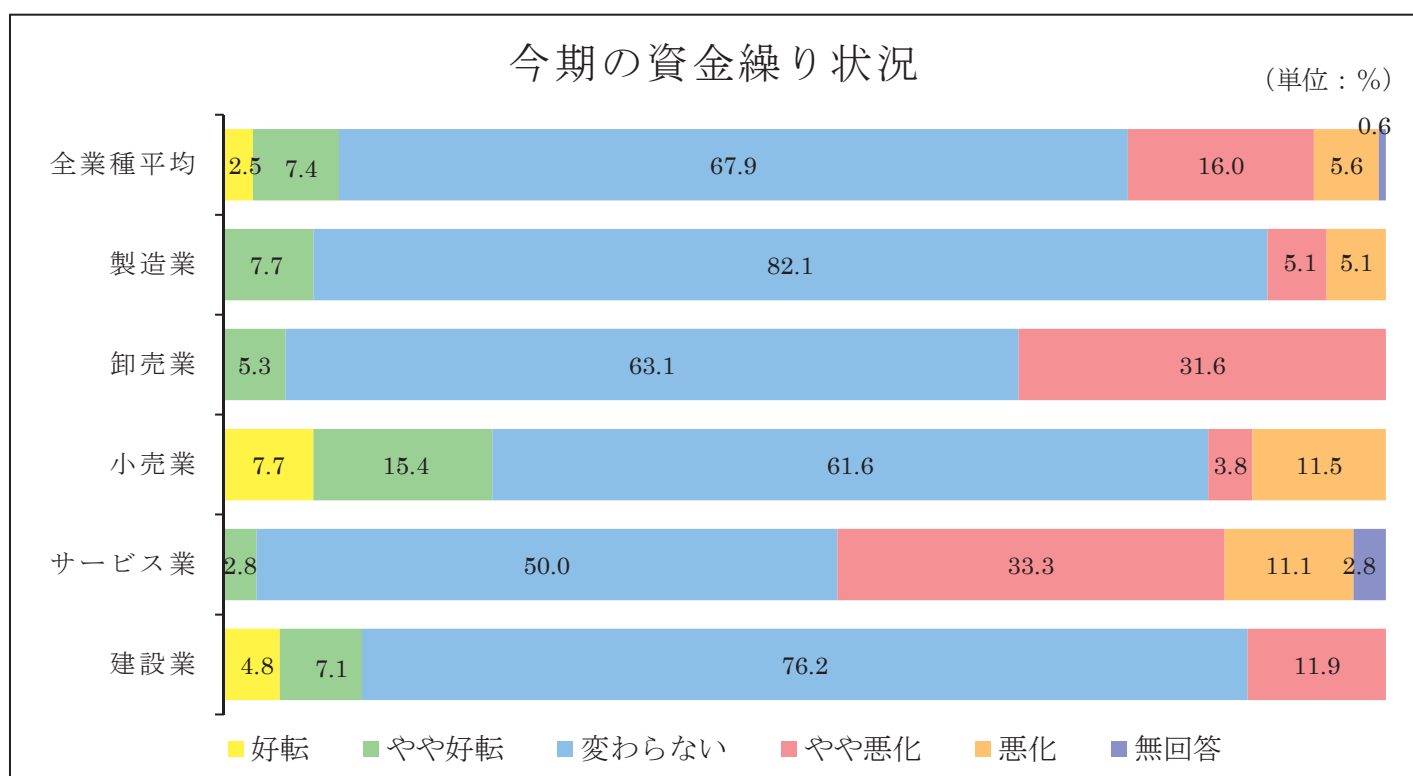
- ・今期D I値は7.8となり、前回より21.5ポイント、前年同期より11.4ポイント改善。
- ・来期D I値は0.0となり、今期より7.8ポイント悪化。

### サービス業

- ・今期D I値は△41.6となり、前回より0.6ポイント改善、前年同期より5.9ポイント悪化。
- ・来期D I値は△33.2となり、今期より8.4ポイント改善。

### 建設業

- ・今期D I値は0.0となり、前回より8.5ポイント、前年同期より4.4ポイント改善。
- ・来期D I値は△14.2となり、今期より14.2ポイント悪化。



## 6. 設備投資状況

### 全業種平均

- ・今期に設備投資を行った割合は24.7%となり、前回より0.2%減少、前年同期より0.4%増加。
- ・来期に設備投資を行う予定の割合は18.5%となり、今期より6.2%減少。

### 製造業

- ・今期に設備投資を行った割合は33.3%となり、前回より1.7%、前年同期より3.9%減少。
- ・来期に設備投資を行う予定の割合は20.5%となり、今期より12.8%減少。

### 卸売業

- ・今期に設備投資を行った割合は21.1%となり、前回より8.1%増加、前年同期より5.2%減少。
- ・来期に設備投資を行う予定の割合は21.1%となり、今期と同水準。

### 小売業

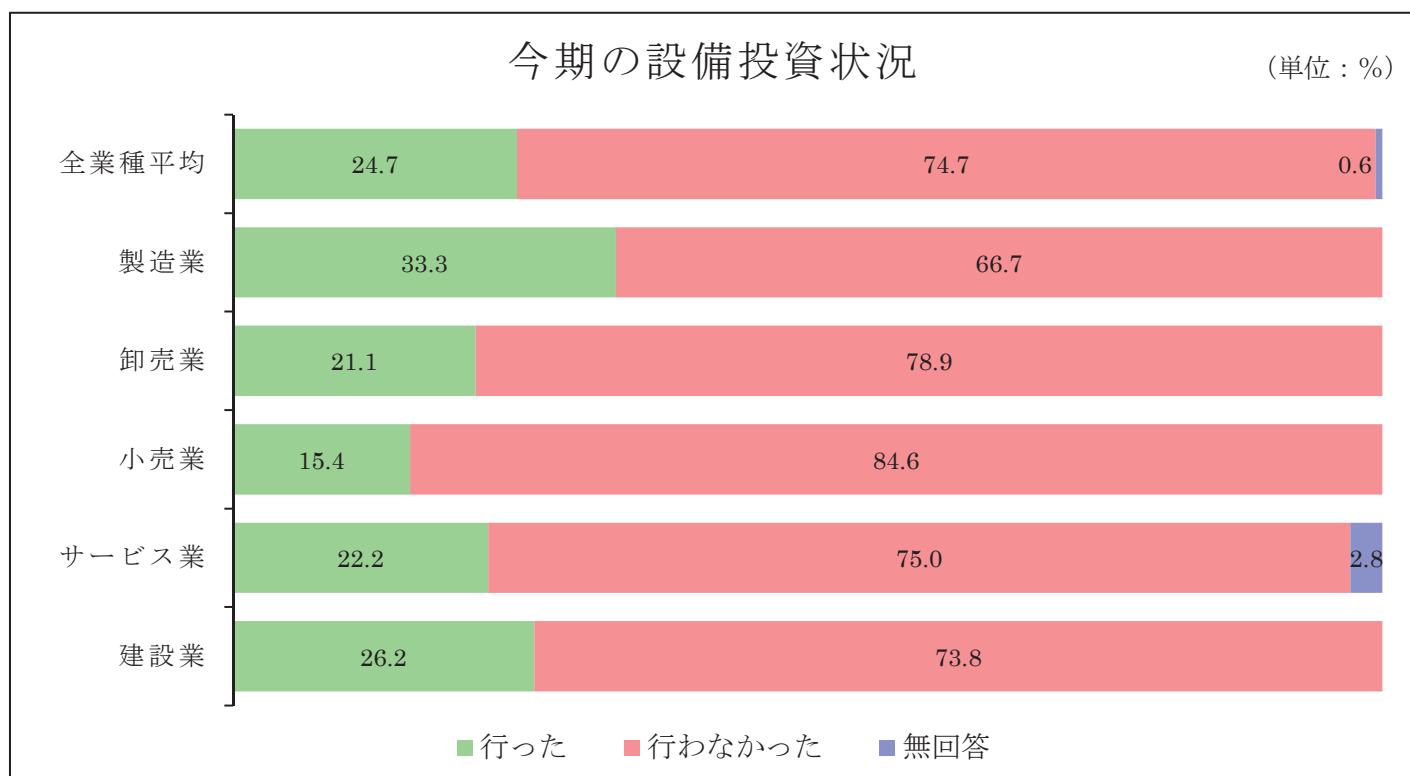
- ・今期に設備投資を行った割合は15.4%となり、前回より1.8%、前年同期より2.5%減少。
- ・来期に設備投資を行う予定の割合は19.2%となり、今期より3.8%増加。

### サービス業

- ・今期に設備投資を行った割合は22.2%となり、前回より1.5%減少、前年同期より10.3%増加。
- ・来期に設備投資を行う予定の割合は8.3%となり、今期より13.9%減少。

### 建設業

- ・今期に設備投資を行った割合は26.2%となり、前回より1.5%、前年同期より0.5%減少。
- ・来期に設備投資を行う予定の割合は23.8%となり、今期より2.4%減少。



## 7. 雇用状況（『今期の雇用状況』は「従業員を雇用している企業」のみ回答）

### 全業種平均

- ・今期D I値は△35.7となり、前回より7.7ポイント不足感が減少、前年同期より0.7ポイント不足感が増加。
- ・来期に「採用予定あり」とする企業は29.6%となり、前回より3.2%増加。

### 製造業

- ・今期D I値は△25.8となり、前回より21.2ポイント、前年同期より14.7ポイント不足感が減少。
- ・来期に「採用予定あり」とする企業は33.3%となり、前回より1.7%減少。

### 卸売業

- ・今期D I値は△5.3となり、前回より17.4ポイント、前年同期より31.6ポイント不足感が減少。
- ・来期に「採用予定あり」とする企業は31.6%となり、前回より1.7%減少。

### 小売業

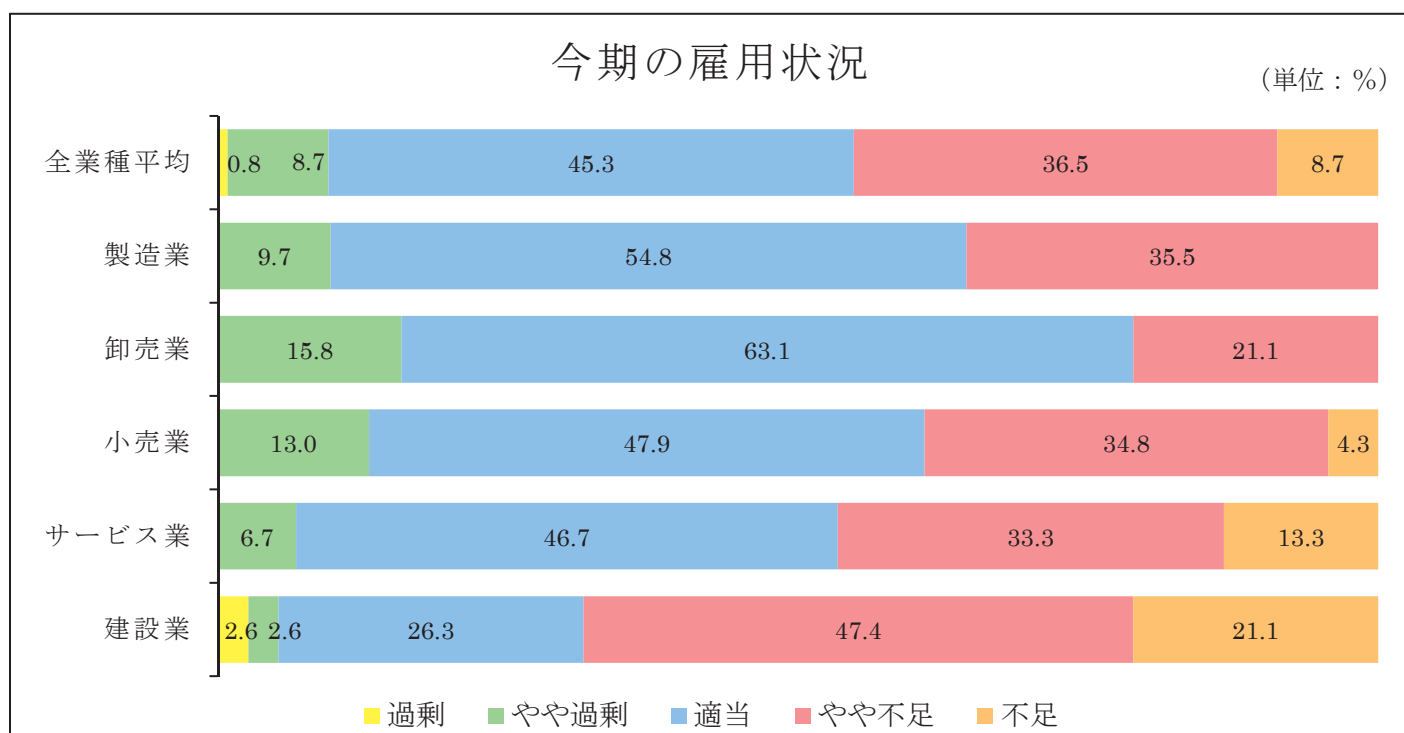
- ・今期D I値は△26.1となり、前回より1.0ポイント、前年同期より14.1ポイント不足感が増加。
- ・来期に「採用予定あり」とする企業は19.2%となり、前回より8.9%増加。

### サービス業

- ・今期D I値は△39.9となり、前回より20.1ポイント不足感が減少、前年同期より29.9ポイント不足感が増加。
- ・来期に「採用予定あり」とする企業は16.7%となり、前回より3.5%増加。

### 建設業

- ・今期D I値は△63.3となり、前回より7.1ポイント、前年同期より6.9ポイント不足感が増加。
- ・来期に「採用予定あり」とする企業は42.9%となり、前回より6.7%増加。



## 8. 「外国人技能実習生」または「外国人労働者」の受け入れ状況

### 全業種平均

- ・「受け入れている」企業は3.7%となり、前回より0.8%減少。
- ・今後「受け入れを検討」する企業は6.2%となり、前回より1.7%増加。

### 製造業

- ・「受け入れている」企業は5.1%となり、前回より4.9%減少。
- ・今後「受け入れを検討」する企業は5.1%となり、前回より2.6%増加。

### 卸売業

- ・「受け入れている」企業は無しとなり、前回より4.2%減少。
- ・今後「受け入れを検討」する企業は5.3%となり、前回より1.1%増加。

### 小売業

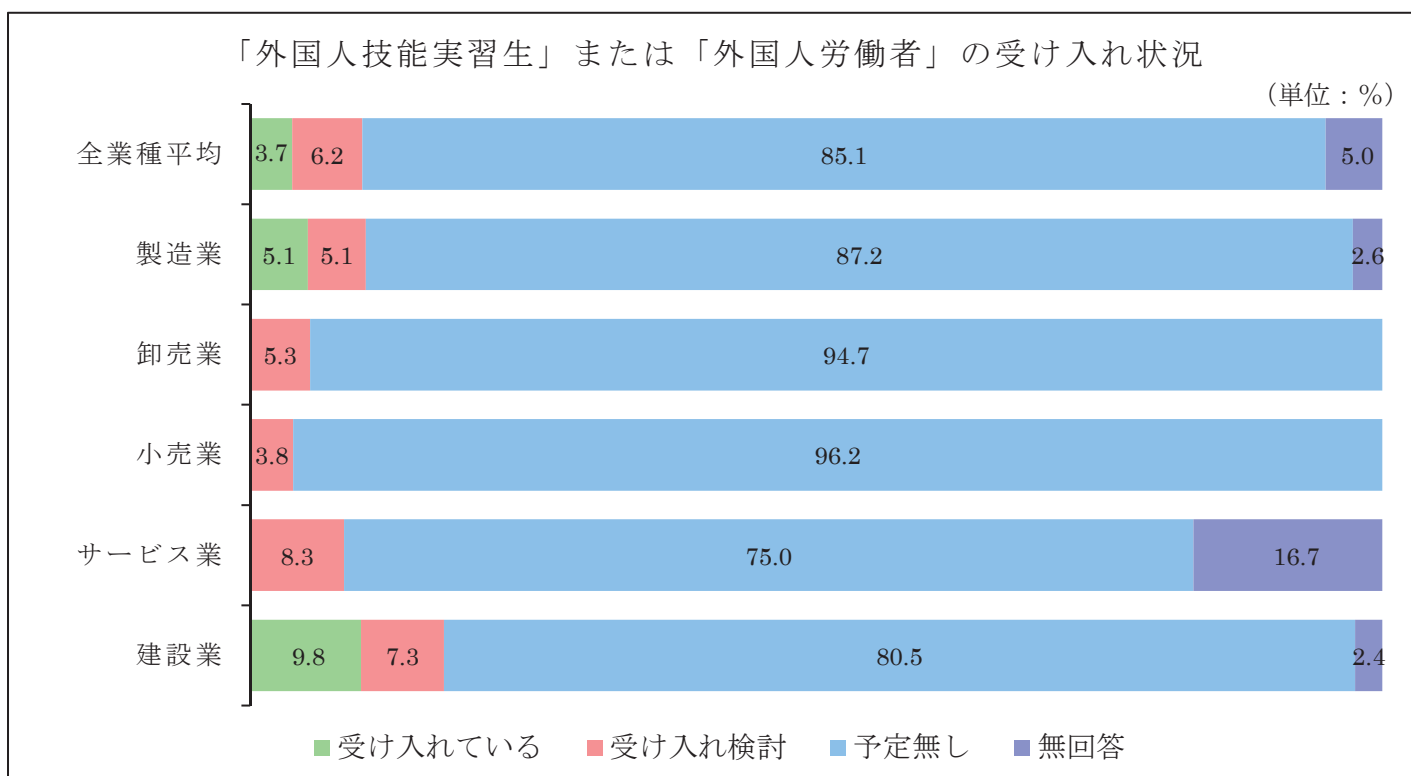
- ・「受け入れている」企業は前回に引き続き無し。
- ・今後「受け入れを検討」する企業は3.8%となり、前回より3.8%増加。

### サービス業

- ・「受け入れている」企業は前回に引き続き無し。
- ・今後「受け入れを検討」する企業は8.3%となり、前回より0.4%増加。

### 建設業

- ・「受け入れている」企業は9.8%となり、前回より3.4%増加。
- ・今後「受け入れを検討」する企業は7.3%となり、前回より0.9%増加。



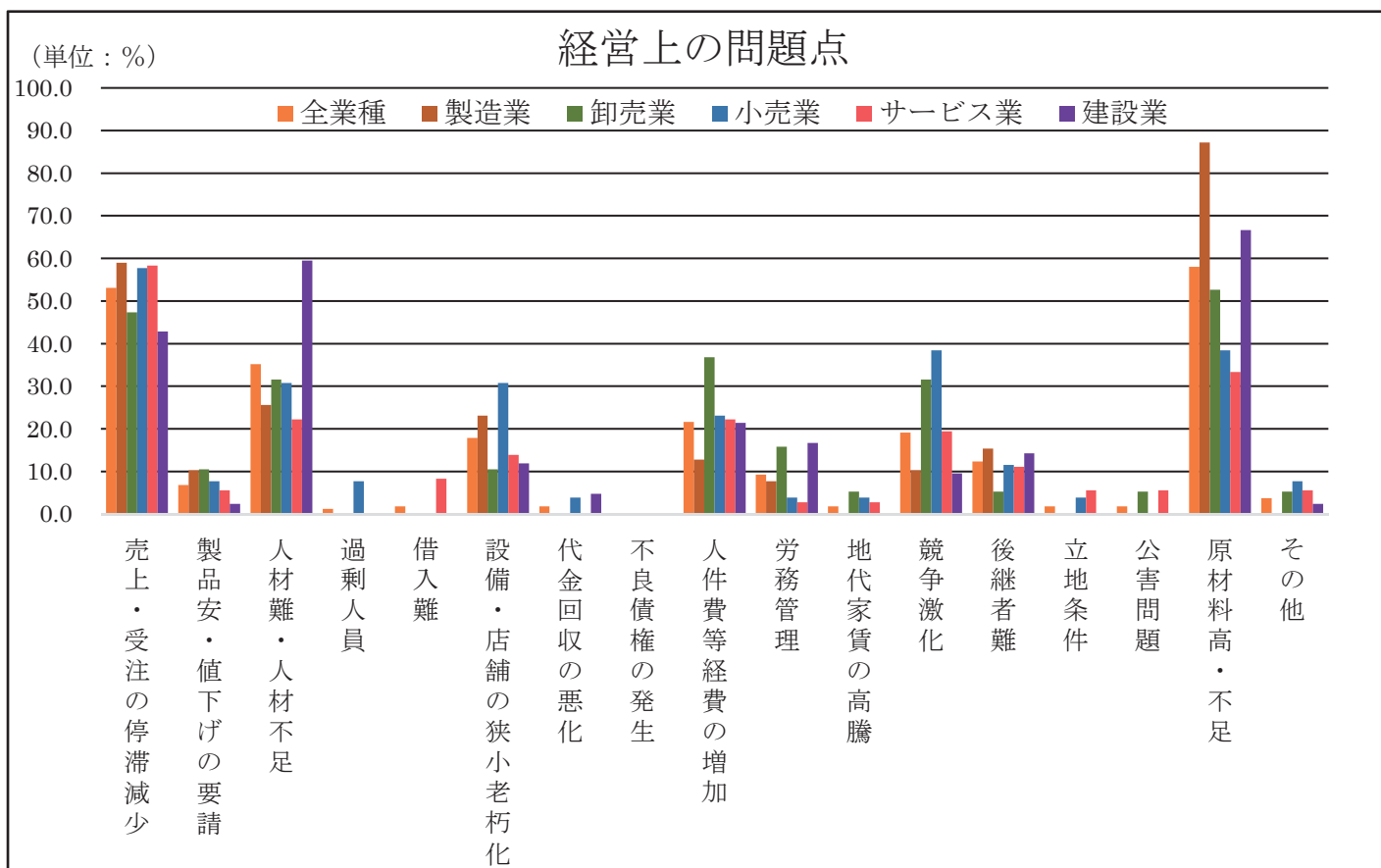
## 9. 経営上の問題点

- ・全業種平均では「原材料高及び不足」が58.0%と全体を通じて最も高く、次いで「売上、受注の停滞減少」が53.1%、「人材難、人材不足」が35.2%と高い割合となっている。
- ・「その他」の意見として、新型コロナウイルス感染症関連では「コロナ終息後の経営環境の不安、第7派による来店客の激減」といった声があった。

それ以外では「物流コストの増加（卸売業）」「ウクライナ情勢の影響や半導体不足による商品の供給問題（小売業）」「顧客の高齢化による影響（サービス業）」「価格転嫁が難しい（建設業）」といった問題に苦慮する声が聞かれた。

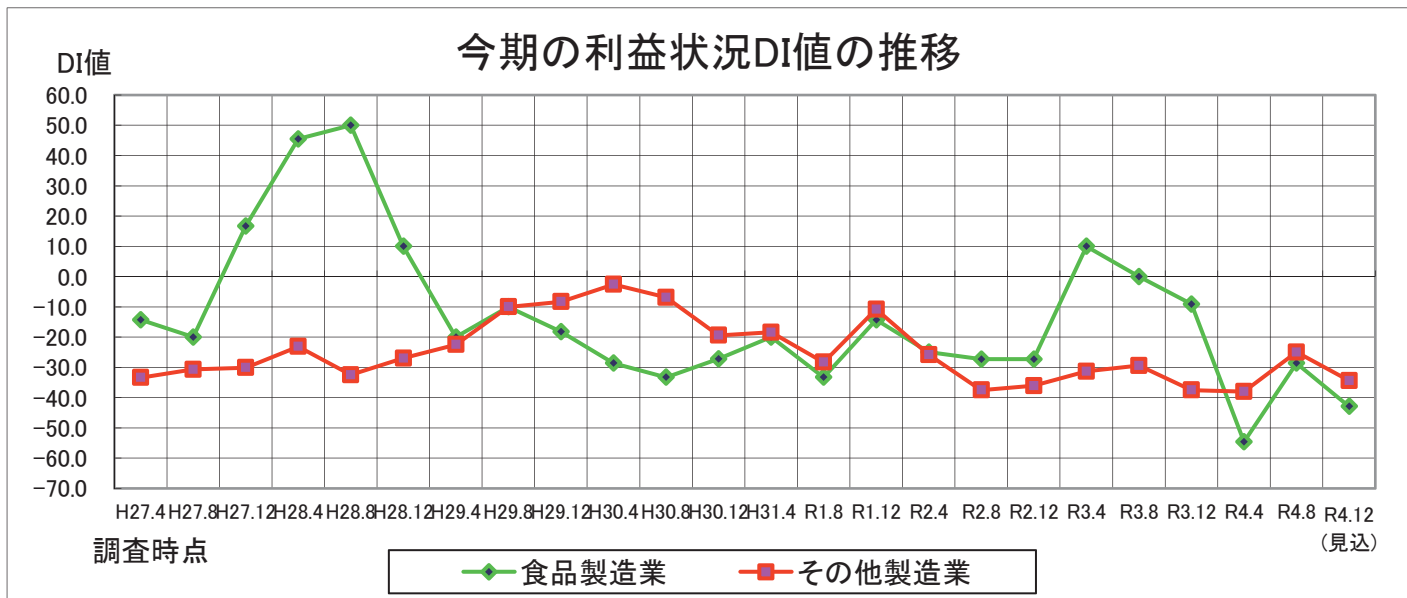
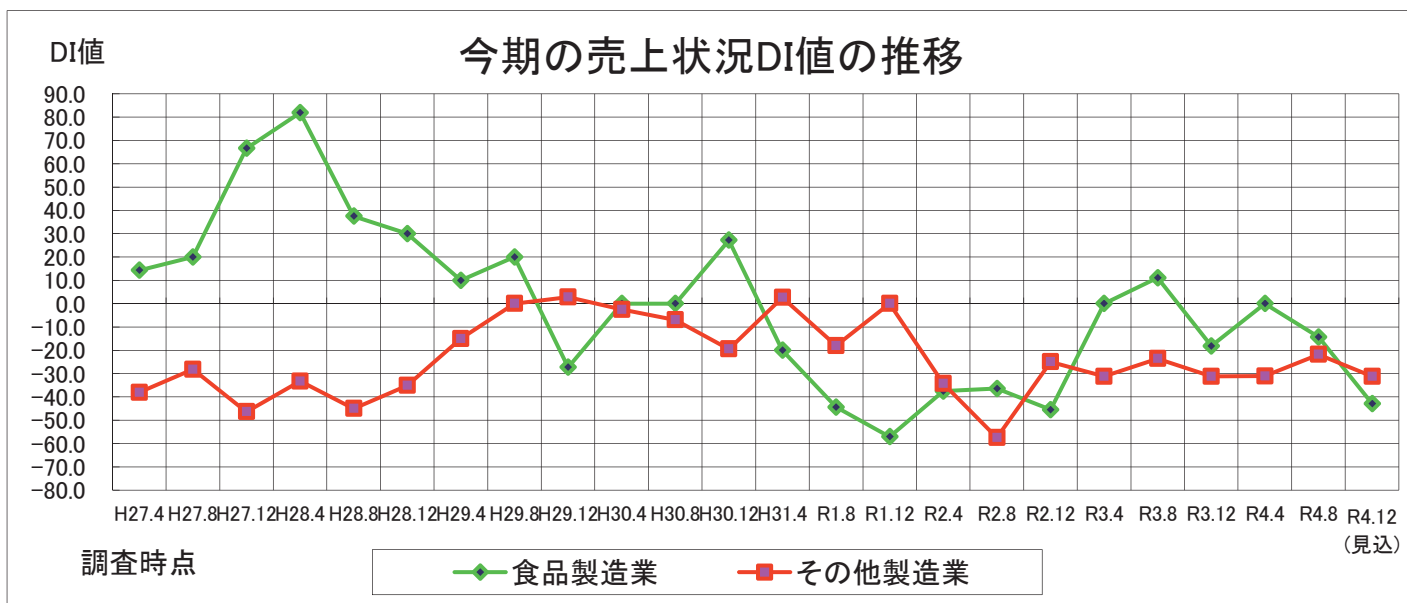
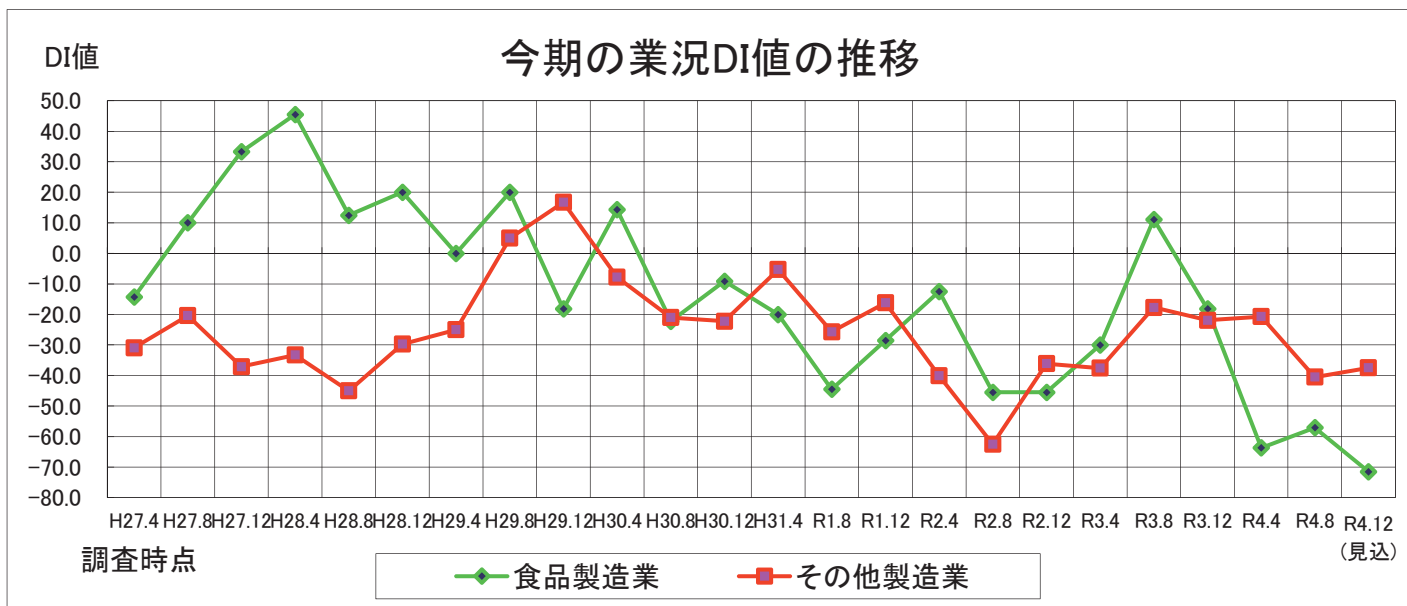
- ・業種別の問題点上位は以下のとおり。（グラフは業種別のみ、無回答は除く）

製造業	原材料高及び不足 (87.2%)	売上・受注の停滞減少 (59.0%)	人材難・人材不足 (25.6%)
卸売業	原材料高及び不足 (52.6%)	売上・受注の停滞減少 (47.4%)	人件費等経費の増加 (36.8%)
小売業	売上・受注の停滞減少 (57.7%)	競争激化 原材料高及び不足 (38.5%)	人材難・人材不足 設備・店舗の狭小老朽化 (30.8%)
サービス業	売上・受注の停滞減少 (58.3%)	原材料高及び不足 (33.3%)	人材難・人材不足 人件費等経費の増加 (22.2%)
建設業	原材料高及び不足 (66.7%)	人材難・人材不足 (59.5%)	売上・受注の停滞減少 (42.9%)



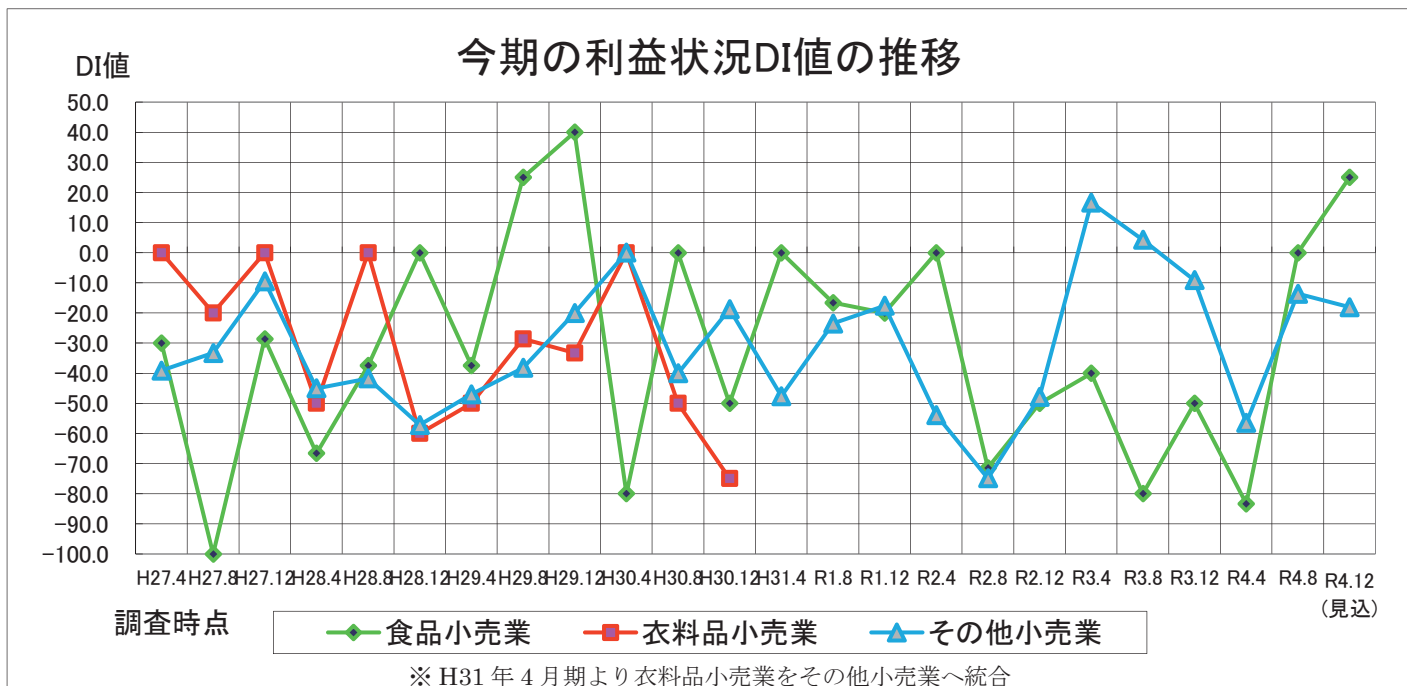
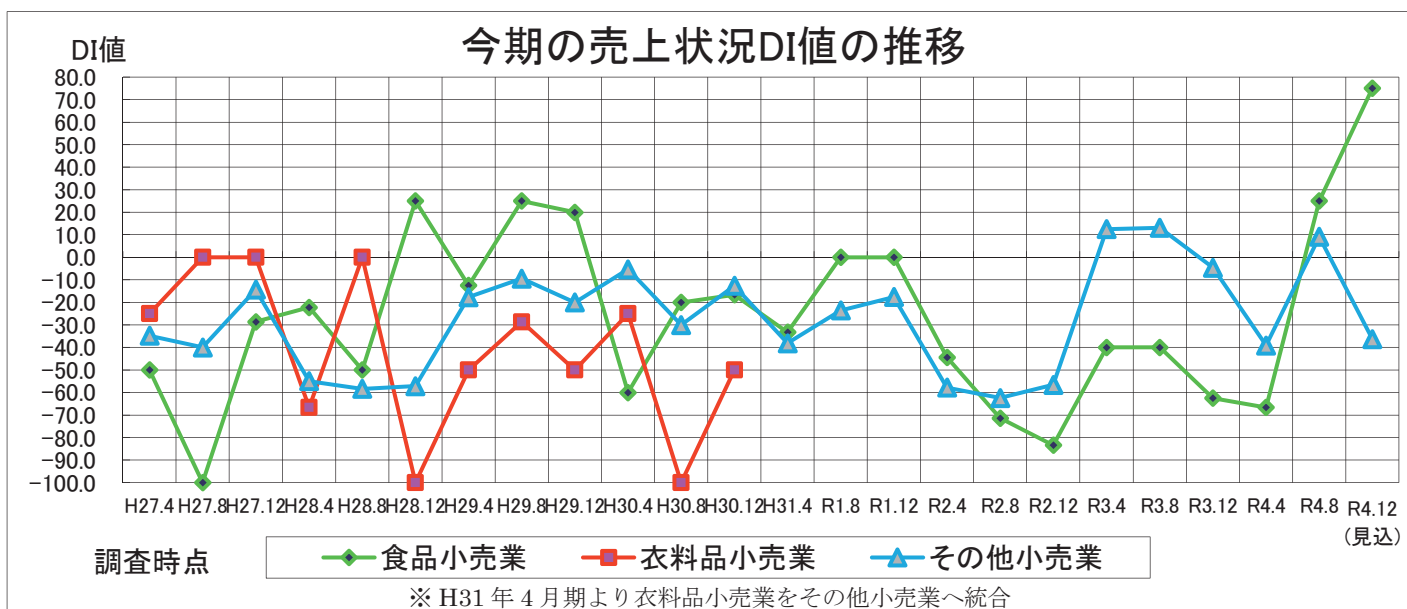
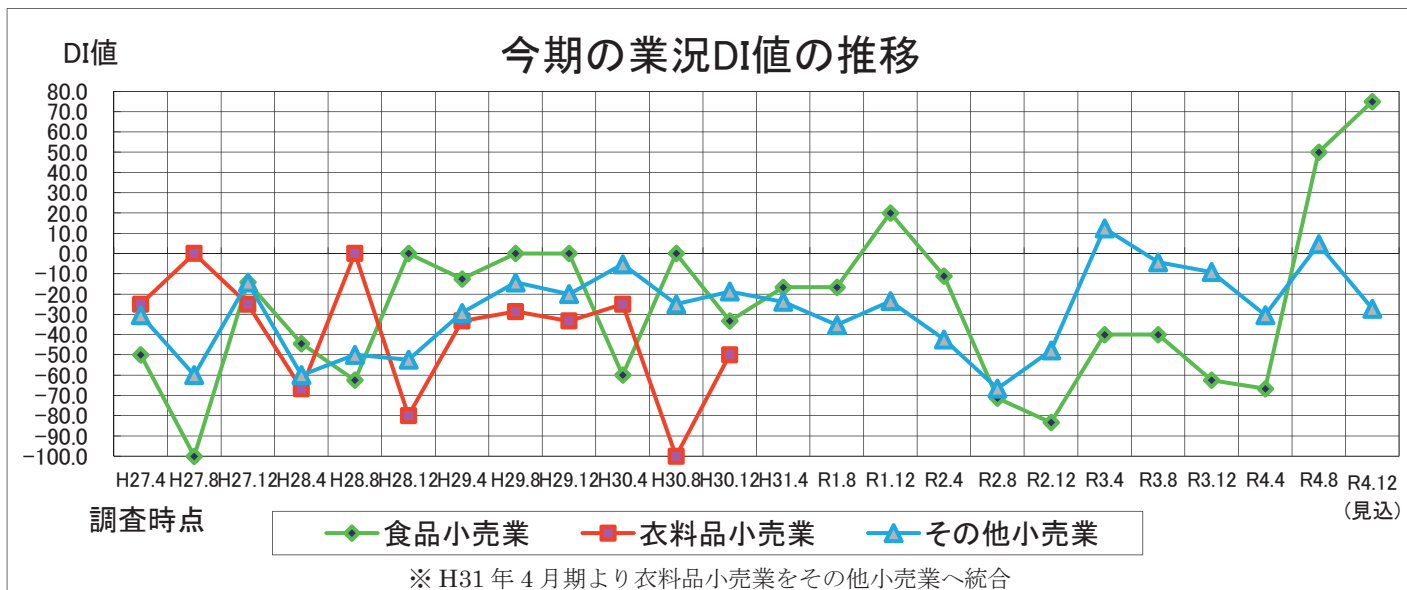
### Ⅲ 業種別参考資料

#### 1. 製造業

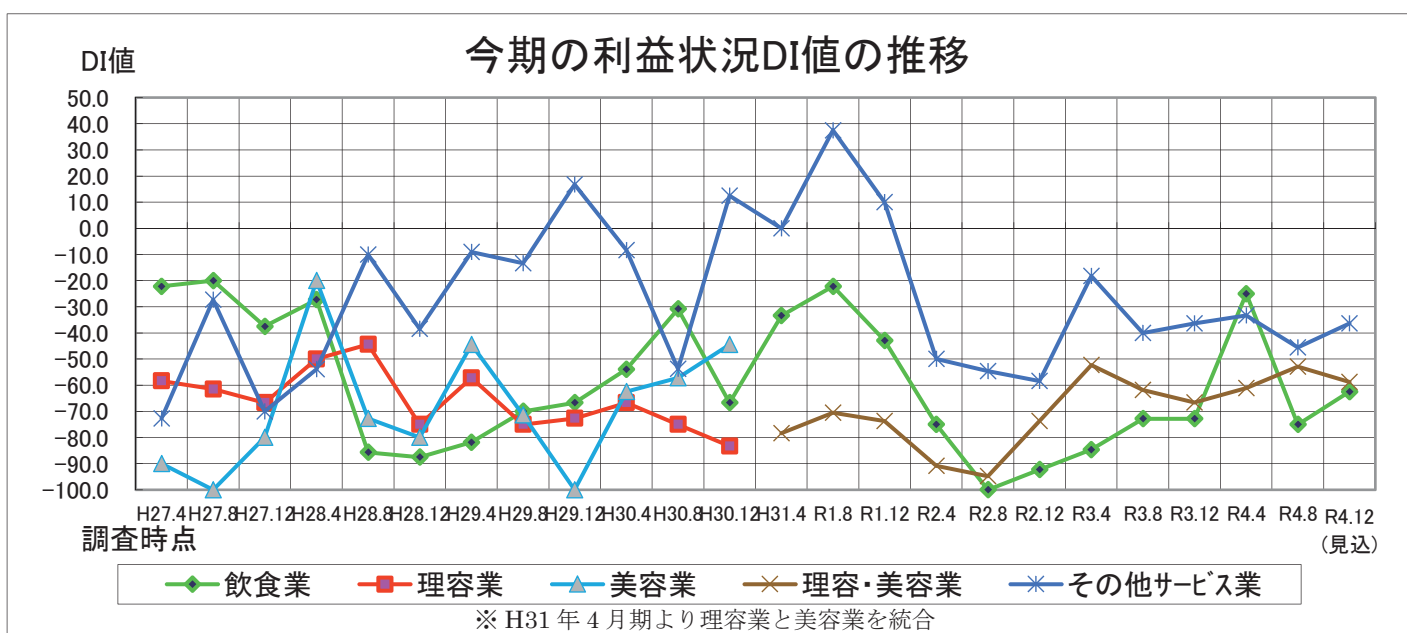
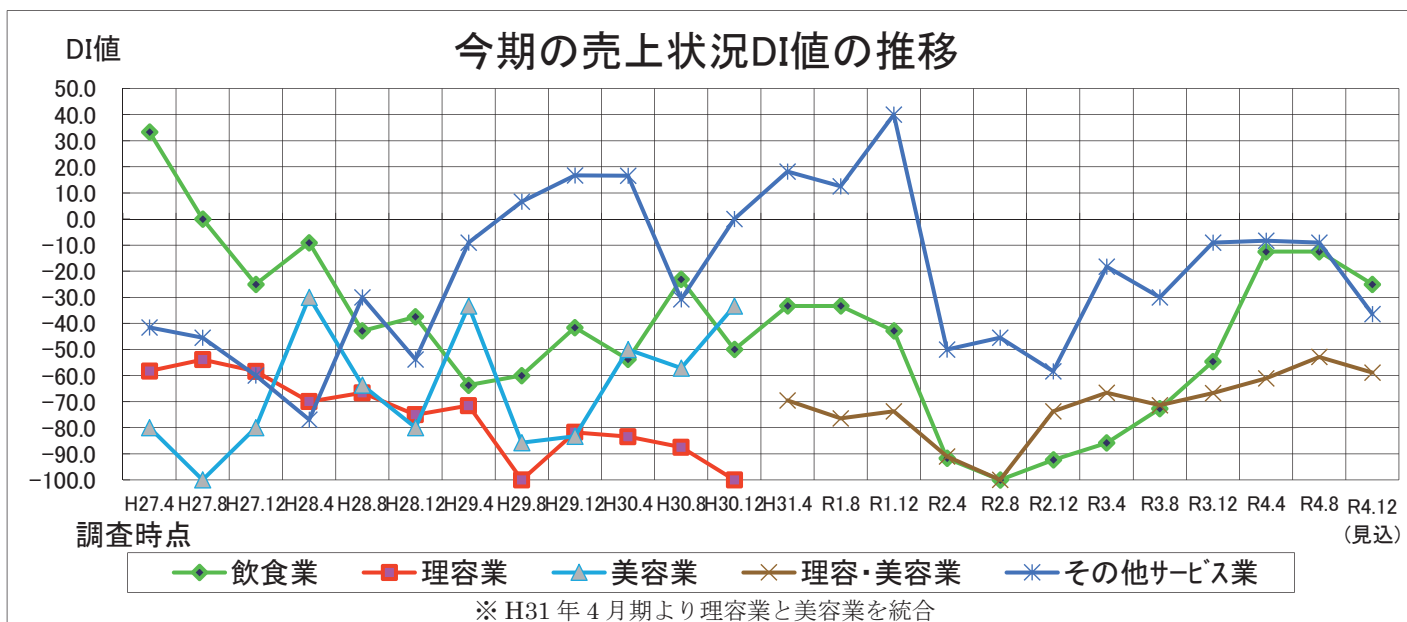
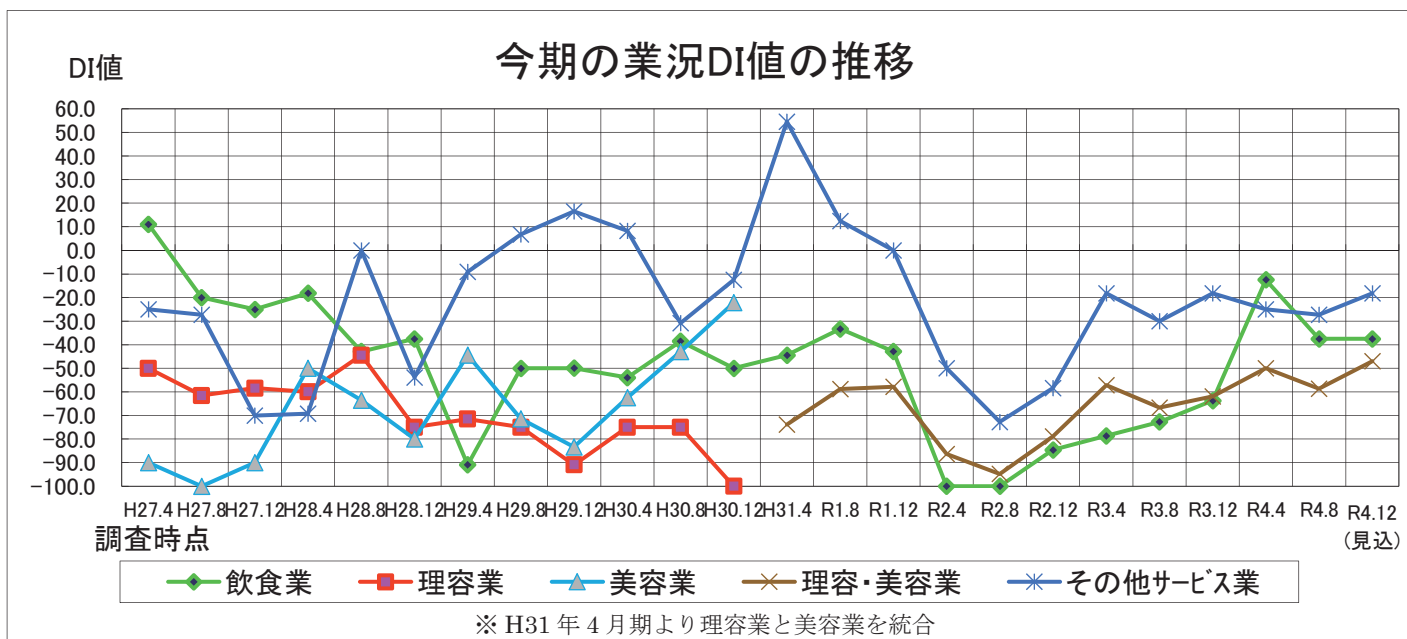




## 2. 小売業



### 3. サービス業



## 4. 建設業

